

寺報みょうとく

浄土真宗本願寺派妙徳寺
(安芸教区志和組)
発行責任 大江了証
東広島市八本松町飯田六〇二
電話〇八二四二八〇一四四

特集 みょうとくとも園について

この一年は感染症問題で様々に初めて経験することばかり、戸惑うことが多く、先の見通しは立たず不安になることはいっぱいでした。

しかし一方では、立ち止まって自分にとって何が大事なかを再確認する、貴重な機会にもなりました。

密閉、密集、密接の状況を避け、会食をしないようになり、人と会うための様々な制約に煩わしい気持ちになります。さらに多くの行事の見直しが進むことになっていこう。しかしその中であつても、大切なものを大切にしよう心がけねばなりません。報恩講もその一つですが、先人から大切に伝えられたもの、この先へ確かに伝えていかねばならぬもの。

報恩講で護持会のお願いをお送りする機会に便乗して、今まで紹介する機会がなかった妙徳保育園(この春からみょうとくとも園へ移行)について書いてみようと思ひます。



昭和五十年ごろの旧園舎の本棟と別棟

お寺の保育園の歴史

お寺が保育園や幼稚園を経営している場合が多く見受けられます。それは戦後、社会の変化の中で地域の求めに応じた結果です。

戦後の復興のために女性を含む多くの労働力の確保が求められ、その一方で将来を担うこどもの環境の整備が急がれました。教育基本法・学校教育法・児童福祉法等が制定施行され、さらに乳幼児を擁護し健全な発達を図るための保育所設置が求められる機運が高まります。こうした社会情勢の中で多くの民間保育団体、保育施設が創設されます。

各地域でお寺が乳幼児の養育の場となりやすかったのは、従来から寺子屋や日曜学校などで地域のこどもが集まる習慣があつたことに由来します。妙徳寺の前の位置には大正時代初期まで飯田尋常小学校、さらにその前身の飯田簡易小学校が、さらにその前には化成館という村有志が建て運営したこどもの教練場があつたことから、最適な場所でありました。

こうしたことから当寺は昭和二十四年に本堂を使って妙徳保育園を開園、昭和二十六年に境内に園舎を建設しました。当時の住職であつた祖父の気概を総代さんたちが後押ししたことが分かります。木造園舎の老朽化により、平成十二年に園舎を現所在地に移転新築しました。

現代は働く女性の増加とともに、幼稚園と保育園へのニーズに差がなくなってきたこと、少子化により望ましいこども集団を確保することが難しいこと、自治

体の財政状況の悪化などを背景に、幼保一元化が求められるようになりました。当園もこれら社会の流れと地域の状況を考慮し、本年四月にみょうとくとも園に移行しました。

保育園機能に幼稚園機能が付加され、職員の技能のさらなる向上など、今後求められる内容と役割はますます重要となります。しかし時代の必要に迫られて応えてきたこれまでの歴史を思えば避けることはできない流れですし、なにより必要とされる大切な役割を担ってこそ伝えられることがあると思ひます。

こども園で伝えたいこと

みょうとくとも園では毎朝、「おやぐそく」を唱和してくれています。

わたくしたちは
みほとけさまをおがみます
わたくしたちは
いつもありがとうといひます
わたくしたちは
お話をよくききます
わたくしたちは
みんななかよくいたします

これは浄土真宗本願寺派保育園連盟のまことの保育実践園の多くが取り入れているものです。この元になつていのは『浄土真宗の生活信条』(昭和三三年)であり『領解文』(一四八〇年ごろ)であり、さらに辿ると『三帰依文』に由来しているといえます。

南無帰依仏
(自分だけを大切にすることなく、仏さまや人との出会いをよろこび尊びます)
南無帰依法
(自分の生きる道を聞き開き続けます)

南無帰依僧
(自分の周りの人と互いにうやまい助けあつたために努力します)

お釈迦さま以来仏教徒が大切にしてきたこの心得は、いつの時代、どの場所においても通用し、誰においても尊重されてきました。世の中が移ろい世の中の仕組みや法律が変わつても、決して失うことなく堅持されてきた価値観。その時代の人々の願いと努力によつてこそ守られ続けたのですがそれだけではなく、ここにあらゆる状況に通用する真理が備わっているからこそではないかと思ひます。

だからこそ、これは今後においても大切にされるべき事柄です。世の中がどのような状況に移り変わるうとも、この心得を常に自らの中心に置いておかねばなりません。

このおやぐそくを人生の心得として、縁あつて入園してくれた親子と職員がともにうなずきあう、そんなこども園でありたいと思ひます。

妙徳寺ホームページ

<http://myotoku-ji.sakura.ne.jp/>
ホームページ内で行事予定を随時更新中



合同墓・墓地案内
有縁の皆さんでおまもりしている合同墓と一般墓地があります。たくさんのお方にご利用いただけます。

行事予定

新型コロナウイルス感染症リスク軽減を目的に法座回数を当面減らしています。

十二月二十七日(日)午後一時から二時
年末お掃除

大晦日 午後十一時半から

除夜会(じよやえ)

元旦 午前十時より一時間半

修正会(しゅうしようえ)

一月七日(木)午後二時、午後六時半

御正忌法要(おたんや)

講師 八本松町篠本派布教使

岡本 法治師

「写経の会」開催予定日
12月4日(金) 午後2時より

「妙徳寺仏教壮年会例会」開催予定日
12月12日(土) 午後7時より寺報編集
毎月第2土曜日午後7時開催を原則

「生きていくための仏の教え仏教基礎講座」
12月12日(土) 午後2時より

志和組テレホン法話「みのりの電話」
433-4989 (しじゅうさんざん、しくはく)
12月1日～ 妙徳寺 大江了証
12月11日～ 志和東 石川了真
12月21日～ 寿福寺 田中一乗

志和、八本松川上地区の本派寺院13カ寺のテレホン法話です。3分程度のお話を24時間いつでもお聞きいただけます。ぜひ、電話でもお聴聞してください。